

# 中国思想専修

授業科目	講義題目	単位	担当教員氏名	開講 セメスター	開講曜日・講時	平成30年度以前入学者 読替先授業科目
中国思想概論	宋明思想史概説	2	三浦 秀一	3	前期火曜日1講時	
中国思想概論	漢魏晋思想史概説	2	齋藤 智寛	4	後期火曜日1講時	
中国思想基礎講読	中国思想文献講読・初級1	2	齋藤 智寛	3	前期火曜日5講時	
中国思想基礎講読	中国思想文献講読・初級2	2	三浦 秀一	4	後期火曜日5講時	
中国思想各論	唐五代の思想と学術	2	齋藤 智寛	5	前期木曜日2講時	
中国思想各論	明末の儒仏道三教	2	三浦 秀一	6	後期木曜日2講時	
中国思想各論	道教の世界	2	池平 紀子	集中(5)	集中講義	
中国思想演習	『東塾読書記』講読	2	三浦 秀一	5	前期水曜日2講時	
中国思想演習	中国思想関係論文講読	2	齋藤 智寛	6	後期水曜日2講時	

科目名：中国思想概論／ Chinese Thought (General Lecture)

曜日・講時：前期 火曜日 1 講時

Semester : 3 単位数 : 2

担当教員：三浦 秀一

コード：LB32101, 科目ナンバリング：LHM-PHI202J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：宋明思想史概説
2. Course Title (授業題目) : Intellectual History of Pre-Modern China
3. 授業の目的と概要：朱子学や陽明学に代表される中国の学問は、あわせて性理学とも称されるのだが、本講義は、そうした性理学が登場して整備され、普及した時代である北宋以降、明末清初期までの思想的展開を概観する。中国の前近代でもある宋明時代の代表的思想家や思想現象について、日本語に翻訳した原典を使用しながら解説をおこなう。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要) : This course covers the intellectual history of Pre-Modern China to help students understand the characteristics of Chinese literati from a historical and philosophical perspective through reading some sources translated into Japanese .
5. 学修の到達目標：宋明時代の知識人の思想内容と、それらの史的展開について、原典にもとづいた理解を得る。宋明性理学の思考方法に慣れる。
6. Learning Goals(学修の到達目標) : Students will understand the ideological activities of various intellectuals who were active in Pre-modern China, along with their historical background.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
  - 第1回：ガイダンス・宋明思想史序説
  - 第2回：宋初の儒仏道三教
  - 第3回：慶暦人士と中唐韓愈の思想
  - 第4回：北宋四子①
  - 第5回：北宋四子②
  - 第6回：蘇軾と蘇轍
  - 第7回：朱熹の思想
  - 第8回：朱熹と陸九淵
  - 第9回：明代の科挙と元末の心学
  - 第10回：陳献章
  - 第11回：王守仁の思想
  - 第12回：王守仁とその門弟
  - 第13回：李贄
  - 第14回：明末天主教
  - 第15回：明末清初の思想動向
8. 成績評価方法：

毎回の出席カードと最終レポート。出席カードの書き方に関しては、ガイダンス時に説明する。
9. 教科書および参考書：

教科書は使用せず、授業時にプリントを配布し、それにもとづいて解説をおこなう。参考書は講義のなかで紹介する。  
Instead of using textbooks, prints will be distributed in advance, and explanations will be given based on them during class.
10. 授業時間外学習：授業で解説を加えたプリントを丁寧に読みかえし、関連する概説書や研究書・研究論文などの閲読によって、理解内容を整理する。  
Be sure to read the pre-distributed prints.
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness  
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness  
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし

科目名：中国思想概論／ Chinese Thought (General Lecture)

曜日・講時：後期 火曜日 1 講時

セメスター：4 単位数：2

担当教員：齋藤 智寛

コード：LB42101, 科目ナンバリング：LHM-PHI202J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：漢魏晋思想史概説
2. Course Title (授業題目)：An introduction to the history of Han, Wei and Jin thought
3. 授業の目的と概要：統一帝国のもと儒教が正統思想として確立した両漢から、儒教の権威がゆらぎ老荘や仏教が士大夫を惹きつけ始めた魏晋期まで、西暦で言えば紀元前 3 世紀より紀元後 5 世紀までの中国思想史を概説する。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course outlines the history of Chinese thought from the third century B.C. to the fifth century A.D., from the time when Confucianism was established as orthodox thought under the unified empire of the Han dynasties to the Wei-Jin period, when Confucianism's authority wavered and LaoZhuang (老荘) and Buddhism began to attract scholar officials.
5. 学修の到達目標：講義で扱った時期の中国思想について、学術、文化、宗教など広い視角から理解することが出来る。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：Students have to be able to understand Chinese thought of the period covered in the lecture from a wide range of perspectives, including intellectual, cultural, and religious perspectives.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
  - 1、導入 2、出土資料から見る前漢の思想 (1) 3、出土資料から見る前漢の思想 (2) 4、前漢武帝期の思想 (1) 5、前漢武帝期の思想 (2) 6、前漢末～後漢初の学術と思想 7、後漢の儒家思想 (1) 8、後漢の儒家思想 (2) 9、後漢における儒家批判 10、後漢の宗教思想 11、魏晋玄学の思想 (1) 12、魏晋玄学の思想 (2) 13、魏晋の古典注釈学 14、仏教と道教の勃興 15、まとめ
8. 成績評価方法：

中間レポート (50%) 期末レポート (50%)
9. 教科書および参考書：

教科書は使用せず、プリントを配布する。参考書は講義中に紹介する。
10. 授業時間外学習：紹介された参考書は出来るだけ読んでみる事。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness  
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness  
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし

科目名：中国思想基礎講読／ Chinese Thought (Introductory Reading)

曜日・講時：前期 火曜日 5 講時

セメスター：3 単位数：2

担当教員：齋藤 智寛

コード：LB32504, 科目ナンバリング：LHM-PHI209J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：中国思想文献講読・初級 1

2. Course Title (授業題目)：Elementary Classical Chinese: Using Philosophical Texts 1

3. 授業の目的と概要：句読点と訓点が施された中国思想文献を読む。漢文の基本的な語法に習熟すると共に、思想文献特有の思惟方法や表現形式に慣れるのが目的である。テキストとしては、安井息軒『大学説』を予定している。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：This semester we will be reading the Daigaku Setsu 大學説 by Yasui Sokken 安井息軒. The purpose of this course is to be familiar with thinking method and retric of philosophical texts.

5. 学修の到達目標：訓点を頼りに中国思想に関する漢文文献を読むことができる。

6. Learning Goals (学修の到達目標)：The purpose of this course is to help students read Chinese philosophical text with punctuation marks.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. 導入
2. 漢文基礎文法 1
3. 漢文基礎文法 2
4. 漢文基礎文法 3
5. 『大学説』読解 1
6. 『大学説』読解 2
7. 『大学説』読解 3
8. 『大学説』読解 4
9. 『大学説』読解 5
10. 『大学説』読解 6
11. 『大学説』読解 7
12. 『大学説』読解 8
13. 『大学説』読解 9
14. 『大学説』読解 10
15. 『大学説』読解 11

8. 成績評価方法：

予習状況と討論での発言状況 (100%)

9. 教科書および参考書：

教科書は使用せずプリントを配布する。参考書は講義のなかで紹介する。

10. 授業時間外学習：辞書を引き、訓読と現代日本語訳を準備すること。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicate the practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

科目名：中国思想基礎講読／ Chinese Thought (Introductory Reading)

曜日・講時：後期 火曜日 5 講時

セメスター：4 単位数：2

担当教員：三浦 秀一

コード：LB42505, 科目ナンバリング：LHM-PHI209J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：中国思想文献講読・初級 2

2. Course Title (授業題目)：Introduction to Chinese Philosophical Classics 2

3. 授業の目的と概要：思想的な内容をもつとともに、訓点などが施された中国古典のテキストに対し、受講者各自が訓読や現代語訳、注解をおこなう。そうした訓練を重ねるなかで、高校段階における「漢文訓読」のレベルを超え、中国の古典文に対する深い読解が可能になるような基礎力を身につける。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：The purposes of this course are learning to read Chinese classics correctly and to examine the sources entirely, which are foundations of learning Chinese philosophy. Punctuating and translating the original texts into Japanese is an integral part of this course.

5. 学修の到達目標：思想系の中国古典文において特徴的な語彙や語法を知るとともに、古典文全般に対する基礎的読解力を培う。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：Students will learn to read, appreciate and analyze texts in classical Chinese along the specific philosophical contexts.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

第1回：ガイダンスとテキストの紹介

第2回：中国古典文の読解と討論 (1)

第3回：中国古典文の読解と討論 (2)

第4回：中国古典文の読解と討論 (3)

第5回：中国古典文の読解と討論 (4)

第6回：中国古典文の読解と討論 (5)

第7回：中国古典文の読解と討論 (6)

第8回：中国古典文の読解と討論 (7)

第9回：中国古典文の読解と討論 (8)

第10回：中国古典文の読解と討論 (9)

第11回：中国古典文の読解と討論 (10)

第12回：中国古典文の読解と討論 (11)

第13回：中国古典文の読解と討論 (12)

第14回：中国古典文の読解と討論 (13)

第15回：中国古典文の読解と討論 (14)

8. 成績評価方法：

授業時間内における報告内容 (50%)、討論への参加度 (50%)

9. 教科書および参考書：

教科書は使用せずプリントを配布する。参考書は講義のなかで紹介する。

The text will be handed out during the course. Reference books will be introduced during class.

10. 授業時間外学習：漢和辞典を活用した、徹底的な予習。

Thorough preparation using a Chinese-Japanese character dictionary.

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

特になし。

科目名：中国思想各論／ Chinese Thought (Special Lecture)

曜日・講時：前期 木曜日 2講時

セメスター：5 単位数：2

担当教員：齋藤 智寛

コード：LB54201, 科目ナンバリング：LHM-PHI302J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：唐五代の思想と学術
2. Course Title (授業題目)：Thought and scholarship of the Tang and Five dynasties period
3. 授業の目的と概要：唐五代の儒仏道三教思想について、学術の形式や思想活動の場、また史学や医学、文学などの文化全般との関わりに注意しながら考察する。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course examines the three doctrines of Confucianism, Buddhism, and Daoism in the Tang and five dynasties era, paying attention to their relationship to academic forms, a place where scholars conduct their studies, and culture in general, including history, medicine, and literature.
5. 学修の到達目標：唐五代における思想文化の諸相について基本的な理解を得る。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：Students have to gain a basic understanding of the various aspects of thought and culture in the Tang and Five dynasties period.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
  - 1、導入
  - 2、初唐における儒仏道三教の古典注釈学 (1)
  - 3、初唐における儒仏道三教の古典注釈学 (2)
  - 4、初唐における儒仏道三教の古典注釈学 (3)
  - 5、道仏二教の一切経
  - 6、道仏二教の戒律と制度
  - 7、盛唐の学術と文化 (1)
  - 8、盛唐の学術と文化 (2)
  - 9、古文家の三教思想 (1)
  - 10、古文家の三教思想 (2)
  - 11、唐代後期の三教交渉 (1)
  - 12、唐代後期の三教交渉 (2)
  - 13、晩唐の思想と文化
  - 15、五代十国の思想まとめ
8. 成績評価方法：

レポート (100%)
9. 教科書および参考書：

教科書は使用せず、プリントを配布する。参考書は講義中に紹介する。
10. 授業時間外学習：紹介された参考書は出来るだけ読んでみる。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness  
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness  
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし

科目名：中国思想各論／ Chinese Thought (Special Lecture)

曜日・講時：後期 木曜日 2 講時

セメスター：6 単位数：2

担当教員：三浦 秀一

コード：LB64202, 科目ナンバリング：LHM-PHI302J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：明末の儒仏道三教
2. Course Title (授業題目) : Study on three teachings during the late Ming Era
3. 授業の目的と概要：本講義は、明末における儒仏道三教思想の実態解明を目的として、とくに嘉靖期から万暦期にいたる時期の知識人士大夫による三教観、仏者と一般士人との交流、老子注に見える三教一致思想などを解説する。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要) : The purpose of this lecture is to clarify the actual situation of the three teachings in the first half of the Ming dynasty. It will be conducted by explaining the religious policy of the Ming dynasty, the view of the three teachings by the intellectual scholar official, the criticism of Taoism by the Buddhist priests, the idea of the three teachings in Laozi's notes, and so on.
5. 学修の到達目標：明代思想史における儒仏道三教の位置づけを把握する。  
三教思想の個別形態を理解する。
6. Learning Goals (学修の到達目標) : Students will understand both the position of three teachings and their individual aspects in the intellectual history of the late Ming Era.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
  - 第1回：ガイダンス
  - 第2回：研究史概観
  - 第3回：薛蕙・王道の老子注と羅欽順
  - 第4回：嘉靖後期の老子注と莊子注
  - 第5回：嘉靖後期の奉仏人士
  - 第6回：王世貞の生涯と思想宗教①
  - 第7回：王世貞の生涯と思想宗教①
  - 第8回：耿定向の生涯と王学理解
  - 第9回：王世貞の後継①
  - 第10回：王世貞の後継①
  - 第11回：方冊大藏経刊行の思想的影響
  - 第12回：焦竑の三教思想
  - 第13回：楊起元の三教思想
  - 第14回：万暦における道書の編纂
  - 第15回：まとめ
8. 成績評価方法：
  - レポート (50%)
  - 授業時間内における討論への参加度 (50%)
9. 教科書および参考書：

教科書は使用せず、プリントを配布する。参考書は授業時間内に紹介する。

The text will be handed out during the course. Reference books will be introduced during class.
10. 授業時間外学習：授業で解説した文献史料を改めて精読する。その文献に記された内容の思想史的位置を考える。  
Carefully read the historical documents explained in the class. Consider the ideological position of the content described in the document.
11. 実務・実践的授業/Practical business  
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business  
《実務・実践的授業/Practical business》
12. その他：なし  
特になし。

科目名：中国思想各論／ Chinese Thought (Special Lecture)

曜日・講時：前期集中 その他 連講

Semester：5 単位数：2

担当教員：池平 紀子

コード：LB98810, 科目ナンバリング：LHM-PHI302J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：道教の世界

2. Course Title (授業題目) : The world of Daoism

3. 授業の目的と概要：中国で発祥した道教は、不老不死の神仙となることを目指し様々な術や儀礼を行う宗教である。それは、儒教・仏教とともに三教の一つとして、相互に対立や習合をしながら発展してきた。また、道教は日本を含む東アジアの宗教文化に多大な影響を与えてきたが、日本においては直接的な形ではなく密教やその他の中国文化に溶け込んだ形で受容された。本科目では、後漢末における道教の成立から唐代までの歴史的な流れを概観する。また、現代の東アジアにおける道教文化についても触れる。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要) : Daoism, which originated in China, is a religion that performs various arts and rituals with the aim of becoming a Shinsen of immortality. It has had a great influence on the religious culture of East Asia, including Japan. However, in Japan, it was less accepted in its direct form, and was accepted as a blend of esoteric and other Chinese culture. In this lesson, we will explain the history of Daoism from its birth at the end of the Eastern Han to the Tang Dynasty. In addition, we will take a look at the modern Daoist culture in East Asia.

5. 学修の到達目標：本講義終了時に、道教の思想と歴史についての基礎知識を獲得すること、またそれらが東アジア文化の中どのように根付いていったのか、簡単に説明できるようになることを到達目標とする。

6. Learning Goals(学修の到達目標) : The goal of this lecture is to gain a basic knowledge of Daoist philosophy and history and to be able to easily explain how they have taken root in East Asian culture.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

【授業方法】講義形式を基本とするが、演習形式も取り入れる。

【進度予定】

- 第1講 インTRODクシヨン：現代の東アジアに見られる道教文化
- 第2講 老子の思想：老子伝と『道德経』、道の生成論と統治論
- 第3講 初期道教1：五斗米道の教団と教法
- 第4講 初期道教2：太平道の教団と教法、黄巾の乱
- 第5講 江南の道流1：葛氏道の系譜と『抱朴子』、煉丹法
- 第6講 江南の道流2：上清派の系譜と経典、存想法
- 第7講 北魏の道教：寇謙之の新天師道、太武帝の廃仏と疑経
- 第8講 劉宋の道教：陸修静の新天師道、靈宝経典と三洞説
- 第9講 北周の道教1：仏道論争と武帝の廃仏
- 第10講 北周の道教2：通道観と『無上秘要』の編纂
- 第11講 隋の道教：大興城・揚州・茅山・天台山における道教と仏教
- 第12講 唐の道教1：唐創業の伝説と道教優先政策
- 第13講 唐の道教2：外丹の隆盛と内丹の成立
- 第14講 唐の道教3：洞天福地説
- 第15講 確認テスト

8. 成績評価方法：

到達目標の達成度で評価をおこないます。具体的には下記のような項目と配点で評価します。

- (1) 予習状況と授業への積極的な参加 50%
- (2) 学期末の確認テスト 50%

9. 教科書および参考書：

【テキスト】

- ・横手裕著『中国道教の展開 (世界史リブレット)』(山川出版社、2008年、729円+税)
- ※同じ著者ですが、参考文献に挙げている『道教の歴史』ではありません。
- また、適宜プリントを配布します。

【参考文献】

- ・横手裕著『道教の歴史 (宗教の世界史6)』(山川出版社、2015年)
- ・増尾伸一郎 丸山宏編『道教の経典を読む』(大修館書店、2001年)
- ・三浦國雄著『不老不死という欲望』(人文書院、2000年)
- ・秋岡英行 垣内智之 加藤千恵著『煉丹術の世界』(大修館書店、2018年)
- ・神塚淑子『道教講義10講』(岩波新書、2020年)

10. 授業時間外学習：受講者は予め配られた資料とテキストを予習し、漢文の原文は書き下し文と日本語訳を作っておくこと。分からない語句は調べておくこと。



1 1. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

1 2. その他：なし

科目名：中国思想演習／ Chinese Thought (Seminar)

曜日・講時：前期 水曜日 2講時

セメスター：5 単位数：2

担当教員：三浦 秀一

コード：LB53205, 科目ナンバリング：LHM-PHI310J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：『東塾読書記』講読

2. Course Title (授業題目)：Critical Reading of "Dongshu Dushuji"

3. 授業の目的と概要：『東塾読書記』とは、清末の広東に生まれ、当時流行の「漢宋兼学」の立場で学生教育に情熱をかたむけた学者陳澧（1810-82）の学術筆記である。本演習は輪読形式でおこない、担当者は、原著の文章をわかりやすい言葉で和訳するとともに、この書物が引く『論語』や『孟子』などの古典や諸儒の語録などに関しては、原典を調べ、その結果を注釈として紹介する。一方、受講者は、担当者による和訳や注解に対して積極的に意見を提出し、出席者全員によってより良い訳注の完成をめざす。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：Students will study how to read, appreciate and analyze texts in classical Chinese in their specific philosophical contexts. Punctuating and translating the original texts into Japanese is an integral part of the course. The purposes of this course are learning to read Chinese classics correctly, which are foundations of learning Chinese philosophy, and learning the knowledge of Chinese ancient thought.

5. 学修の到達目標：『東塾読書記』の内容を原典に即して理解する。中国の古典に関する知識を深める。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：Students will develop their abilities to read, appreciate and analyze texts in classical Chinese.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

第1回：ガイダンスとテキスト等の紹介、訳注方法の例示、担当者の決定

第2回～第15回：各担当者による『東塾読書記』訳注の発表、および受講者との発表内容の吟味

8. 成績評価方法：

発表内容（50%）、参加態度（50%）

9. 教科書および参考書：

初回授業時にプリントを配布する。参考書は授業中に紹介する。

The text will be handed out at the beginning of the course. Reference books will be introduced during class.

10. 授業時間外学習：漢和辞典を活用した、徹底的な予習。

Thorough preparation using a Chinese-Japanese character dictionary.

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

特になし。

科目名：中国思想演習／ Chinese Thought (Seminar)

曜日・講時：後期 水曜日 2 講時

セメスター：6 単位数：2

担当教員：齋藤 智寛

コード：LB63205, 科目ナンバリング：LHM-PHI310J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：中国思想関係論文講読

2. Course Title (授業題目)：Study in the reserches for Chinese thought

3. 授業の目的と概要：中国古代中世思想研究についての学術論文から、重要なもの数点を選んで精読する。学術論文について、研究史の視点を持ちながら的確な読解と批評をおこなう能力を養うのが本演習の目的である。なお、学期の後半は原典講読も行う。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：In this course students will read several significant articles on Chinese ancient and medieval thought. This course aims to improve students ability to review and critisize articles accurately, understanding articles in context of reserch history. In the second half of the semester, we will also read the original texts.

5. 学修の到達目標：学術論文の論旨を理解し、その意義を評価できる。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：This course is designed to help students gain the ability needed to read and value articles correctly.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. 導入
2. 中国思想関係論文会読 1
3. 中国思想関係論文会読 2
4. 中国思想関係論文会読 3
5. 中国思想関係論文会読 4
6. 中国思想関係論文会読 5
7. 中国思想関係論文会読 6
8. 中国思想関係論文会読 7
9. 中国思想原典会読 1
10. 中国思想原典会読 2
11. 中国思想原典会読 3
12. 中国思想原典会読 4
13. 中国思想原典会読 5
14. 中国思想原典会読 6
15. 中国思想原典会読 7

8. 成績評価方法：

発表と討論での発言状況 (100%)

9. 教科書および参考書：

教科書は使用せず、プリントを配布する。

10. 授業時間外学習：予習のほか、未解決箇所は授業後に調べて次回の討論に備えること。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし